

<平成 27 年度>

土木部の取り組み実績

土木総務課
道路河川管理課
道路河川補修課
道路河川整備課
公園みどり推進室

交通対策課
用地課

I 重点施策・事業

◆都市基盤として安全・快適で活力を生む道路 交通網の整備

広域交通ネットワークを構成する新名神高速道路や I.C.へのアクセス道路となる都市計画道路内里高野道線の整備促進にあたっては、市民にしっかりと情報発信を行うとともに引き続き、事業者に対し、周辺環境に十分配慮した道路として整備されるよう働きかけます。

また、淀川を渡河する新橋の整備については、対岸市と連携して認識を深めるとともに、早期整備に向けて国・府へ働きかけます。

本市の都市計画道路については、安全で円滑な交通体系を構築するため、本市道路ネットワークの軸であり、第二京阪道路や枚方市駅へアクセスする牧野長尾線や枚方藤阪線、さらに避難路や緊急時の輸送経路の確保に繋がる御殿山小倉線や中振交野線の整備を計画的に進めます。

また、国、府、警察、本市が連携して取り組んでいる国道 307 号の渋滞対策については、それぞれの役割の中で、(仮称) 責谷川沿い道路の整備に向け、取り組みます。



枚方藤阪線（天津橋工区）完成区間

実績

- ・新名神高速道路については、事業者・地域と設計協議を行い、周辺環境に十分配慮した道路を整備されるよう事業者に対し働きかけを行った。

- ・淀川渡河橋については、対岸市と連携して事業者などに更なる働きかけを行った。
- ・都市計画道路において、牧野長尾線では、鉄道との交差部における JR との工事基本協定を締結し、また、大阪府と連携した道路整備工事に着手した。枚方藤阪線は、用地の取得ができた区間において、道路整備工事を行った。中振交野線は、事業認可を取得し、また、御殿山小倉線においては、用地取得を行うなど、着実に取り組んでいる。
- ・責谷川沿い道路の整備については、将来交通量予測、事業効果の検証により一定の効果が確認できた。また、予備設計により、現地測量を踏まえ、線形決定、幅員構成等の検討を行った。

◆安全・安心な交通環境の創出

本市の将来都市像の実現を図る観点から、交通事業とまちづくりが連携した総合的かつ計画的な交通施策として、「枚方市総合交通計画」の策定に向け、取り組みます。

通学路の安全対策としては、安全な歩行空間の確保を図るため、「通学路交通安全プログラム」に基づき、JR 学研都市線の交野踏切及び第一藤阪踏切の拡幅整備に取り組むとともに、中宮第 2 号線の改良整備を進めます。

安全で快適な自転車利用環境を創出するため、走行空間の拡大・自転車の交通マナー学習機会の充実・高齢者の事故抑制に取り組めます。



総合交通計画

実績

- ・「枚方市総合交通計画」の策定に向けた取り組みでは、市内交通関係者による協議会の設置や市民ワークショップの参加者募集など、検討体制を構築した。
- ・JR 学研都市線の交野踏切については、JR との協定に基づく踏切拡幅整備を完了し、第一藤阪踏切については、JR との工事基本協定を締結した。
- ・中宮第 2 号線については、一部区間において、道路整備工事を行った。
- ・自転車の安全利用を始めとする交通安全教育の推進のため、市内の保育所（園）、幼稚園、小学校において、交通安全教室を 122 回開催し、交通ルールの遵守や交通マナーの向上に取り組んだ。また、高齢者を対象とした自転車交通安全教室を 2 回開催した。
- ・10 月に、招提中学校においてスケアードストレート交通安全教室を試行的に実施し、交通ルールやマナーを守ることの大切さを体感してもらうことができた。



〈スケアードストレート交通安全教室〉

◆道路・公園等の効果的・効率的な維持管理

道路や公園などの機能や安全性を確保するため、これらの施設の異常や支障箇所の早期発見を目的に引き続きパトロールを行うなど、迅速な対応に努めます。

また、安全で快適な道路環境の保持及び効果的・効率的な施設の維持管理を図るため、主要道路リフレッシュ事業を継続的に進めるとともに、道路照明灯などの点検のほか、橋梁やトンネルについては、より精度を高めた点検を行います。

橋梁や公園の長寿命化計画に基づく、修繕や耐震化、改築等の工事、また、近年頻発する集中豪雨などに対応するため、緊急体制の充実を図るとともに、道路排水施設等における排水機能の改善に引き続き取り組みます。

実績

- ・市全域の市道及び市管理道路のパトロールを 2 回実施し、穴ぼこ等の損傷を発見し、早期対応を行った。
- ・橋梁について、近接目視による精度の高い点検を 30 橋行った。
- ・主要道路リフレッシュ事業では、岡東山之上東 1 号線、山之上高田線、牧野長尾線の 3 路線延長 1,045m の整備を行った。
- ・橋梁長寿命化対策としては、越前林高架橋及び太田橋などについての補修施工を行うとともに、併せて耐震化の取り組みを行った。
- ・集中豪雨等の対策として、過去に被害にあった地域における重点的なパトロールや側溝の清掃等を事前に行った。
- ・公園施設長寿命化計画に基づき、鏡伝池緑地（市民の森）・宇山東公園・平野公園の木製遊具の撤去・更新工事を行い、楠葉東公園・王仁公園については、照明灯の更新工事を行った。



〈整備後の岡東山之上東 1 号線〉

◆公園の整備と緑化推進や緑地保全によるみどり豊かな都市環境の創造

東部公園については、第 2 期の整備として緑地部分の整備を進めていきます。また、星ヶ丘公園は計画的に用地取得を行っており、今年度は、自然林部分を含めた区域拡張の整備も行い、市民へ憩いとやすらぎの場を創出します。

天満川緑道の北楠葉町地区においては、火災における延焼防止効果を高めることや一時避難

地への避難経路を確保するため緑道の整備を進めていきます。

みどりの保全、創出、活用を総合的かつ計画的に進めるため、環境や社会状況の変化に対応した「緑の基本計画」を改定するとともに、「里山保全基本計画」については、関連諸計画と整合を図り、改定作業を進めます。

また、平成 26 年度に創設した「花と緑のまちづくり事業」については、市民への周知をさらに図り、地域における緑化活動、みどりによる良好な景観、拠点整備による地域のにぎわいの創出をめざします。

実績

- ・東部公園は、第 2 期整備区域の造成工事と合わせ、ドッグランの整備を行った。
- ・星ヶ丘公園については、平成 25～27 年度に取得した用地を第 2 工区整備として散策路整備を行い、平成 28 年 2 月に追加開放した。
- ・天満川緑道については、実施設計業務を行い、次年度の用地取得に向け作業を進めた。
- ・緑の基本計画については、これまでの「量の拡大」から、多様な主体が連携したみどりづくりの推進による「質の向上」へと方向転換するとともに、計画の実行性を高めるため、重点テーマの設定や明確な目標設定、適切な進捗管理などをポイントに平成 28 年 3 月に改定を行った。
- ・花と緑のまちづくり事業については、花と緑の拠点づくり事業、施設緑化事業に 1 件ずつの申請があり、花と緑のまちづくり事業選定審査会において審査が行われ、2 事業とも選定された。
- ・里山保全については、森林ボランティアの増員につながるよう、里山講座を開催し、受講者に里山保全意識の向上を促すことができた。里山保全基本計画の改定については、上位計画であるみどりの基本計画の中で里山保全の取り組みへの方針を位置づけることになった。

II 行政改革・業務改善

<行政改革実施プラン（前期）の改革課題>

改革課題	取り組み内容・目標
9. アダプトプログラム等の推進	公園・道路・河川の日常的な維持管理についてアダプトを推進する。
実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・道路アダプトについては、加入団体の増減はなく 14 団体が継続して取り組んだ。 ・公園、緑地等のアダプトプログラム団体の拡大に取り組み、新たな登録もあり、213 公園、153 団体となった。 	

改革課題	取り組み内容・目標
27. 市内スポーツ施設の管理運営体制の一元化	スポーツ施設の管理運営の一元化に向け検討を進める。
実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育部との間において、スポーツ施設の指定管理による課題の確認を行い、管理運営について相互の所見に関して意見交換するなど、情報の共有化を進めた。 	

改革課題	取り組み内容・目標
33. 技能労務職員等の配置基準の見直し	市民からの通報や要望への迅速な対応などの行政の役割と責任やセーフティネットの確保等の視点から整理し、それを踏まえた今後の方向性について、基本的な考え方を示す。
実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・技能労務職員の役割や責任を明確にし、セーフティネットの確保の視点から、現状の業務についての整理を行い、従事する業務を明らかにした。 	

改革課題	取り組み内容・目標
37. 指定管理者制度の導入拡大	公園等の管理方法として、「市民の森」の指定管理者制度の導入に向けて、具体的に検討する。
実績	
・鏡伝池緑地（市民の森）について、指定管理者制度導入に向けて具体の検討を進めた。	

改革課題	取り組み内容・目標
41. 特別会計・企業会計の経営健全化と一般会計繰出金の抑制 ②自動車駐車場特別会計	適切な施設保全と利用者増に繋がる施策を推進させます。
実績	
・「枚方市市有建築物保全計画」に基づき、岡東町自動車駐車場の受変電・防災設備改修工事を行った。また、外壁更新工事のための設計委託を行い、適切な施設保全に取り組んだ。	

<改革・改善サイクルに係る対応>

事務事業	取り組み内容・目標
里山保全事業	津田地区、穂谷地区の森づくり委員会やボランティア団体への活動の支援
実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・津田地区、穂谷地区の森づくり委員会をそれぞれ1回開催し、里山保全・整備に関する協議を進めた。 ・ボランティア団体への活動の支援として、意見交換会の開催や里山保全活動補助金の交付を実施している。意見交換会を2回開催し、6団体に里山保全活動補助金を交付した。 	

事務事業	取り組み内容・目標
駐車場案内システム維持管理業務	駐車場案内システムの廃止と案内板の撤去

実績
・改革・改善サイクルの方針に従い、平成27年3月末をもって廃止した駐車場案内システムについて、システムで使用したパソコン等OA機器の廃棄処分を行うとともに、平成28年度における案内板等の撤去に向けて予算の確保に取り組んだ。

<業務改善のテーマ・目標>

テーマ	取り組み内容・目標
安全作業の徹底	「安全十則」「安全作業の手引」などにより、常時の安全確認と意識啓発を行う。
実績	
・KYKの取り組み目標の全員による唱和活動などにより、常に安全に対する意識を高める活動を行った。	

テーマ	取り組み内容・目標
公用車の事故防止	運転中の安全確認はもとより、道路上での作業中の安全対策等も含めて、効果的な講習等について検討し、実施する。
実績	
・中部別館において、日々の朝礼などにより安全作業の徹底と安全運転に対する意識の向上を行った。	

Ⅲ 予算編成・執行

◆市域幹線ネットワークの強化を図るため都市計画道路の建設や、防災・安全対策として通学路の改良整備や主要道路リフレッシュ事業などに国の交付金等を最大限に活用し、効率的に取り組めます。

	維持管理	建設事業	計
平成27年度当初予算	10億 1700万円	18億 1000万円	28億 2700万円

実績

(主な事業)

- ・主要道路リフレッシュ整備事業（岡東山之上東1号線などの舗装整備）（1億3,100万円）
- ・橋梁修繕・補強事業（5,400万円）
- ・牧野長尾線整備事業（2億8,700万円）
- ・御殿山小倉線整備事業（4億1,800万円）
- ・踏切道交通安全対策事業（JR学研都市線の踏切拡幅）（9,900万円）
- ・市道中宮第2号線拡幅事業（3,200万円）
- ・星ヶ丘公園整備（2億4,000万円）

IV 組織運営・人材育成

- ◆道路・公園等の整備から維持管理まで一貫して所管する部として、各課間の連携を密にし、効果的・効率的に事務事業の執行を図ります。

実績

- ・道路河川管理課と道路河川補修課間での連絡調整会議を毎週定期的に行い、様々な課題解決に向け、より効率的な対応方法について協議を行った。
- ・道路等に関する要望を部内で共有、確認、調整し、懸案事項についての関係課長会議を開催し、不法占用の除去や用地取得に伴う部内の課題解決に向け、連携を図った。

- ◆災害時等のセーフティネットとして万全の対応が取れるよう、災害対応訓練などによる検証を繰り返し、充実した態勢を整えます。

実績

- ・災害情報システムによる処理対応等を含めた図上訓練を2月に実施した。
- ・MCA無線の通信訓練をグループと個別に交互で月1回実施した。
- ・台風接近前など連絡体制の確認と災害予想状況に応じた臨時対応など対策を行った。

- ◆新名神高速道路やその関連事業など、広域的な事業調整の増大に対応するため、大阪府との人材交流を積極的に行います。

実績

- ・平成27・28年度の2年間、土木事業推進のため大阪府都市整備部職員1人の派遣を受け、府市連携事業の推進に取り組むとともに、本市も平成27・28年度の2年間、道路河川整備課職員1人を大阪府都市整備部交通道路室に派遣し、実務研修を行った。

- ◆部内報や部内研修の充実などを通じて、各課の事務事業の共有化を促進し、意識・知識・見識など職員力のさらなる向上に取り組み、自律型職員の育成を図ります。

実績

- ・土木部への異動者を対象とした部内研修を実施したほか、スキルアップのための部内任意研修を5回開催した。また、部内報「DOBOKU TOPICS」を発行し、部内事務事業の共有化を図った。

V 広報・情報発信

- ◆新名神高速道路をはじめ、都市計画道路・公園等の整備は、本市のまちづくりや市民生活に与える影響も大きいことから、広報ひらかたやホームページなど適時・適切に周知が図れるよう情報発信します。

実績

(主なもの)

- ・都市計画道路中振交野線の事業認可取得については、広報ひらかた及びホームページ等により周知した上、住民説明会を開催した。また、説明会の結果をホームページに掲載した。

- ◆市民の皆様への周知や普及啓発などの情報を正確かつ効果的に発信するため、部内各課のホームページの充実など、情報発信の強化に努めます。特に公共工事に際しては、現場の仮囲いに計画平面図などを掲示し、市民の皆様にも事業への理解を深めます。

実績

(主なもの)

- ・特別史跡百済寺跡の整備工事ではパースを掲示した。

- ◆みどりに関する、様々な活動を市民の皆様にご紹介するため、市民の各種環境関連イベントにおいて、里山保全に関する情報や保全活動団体の活動内容を示したパネル、「ひらかた Green ワークショップだより」などを展示するとともに、里山保全に関する講座の実施やエフエムひらかたへの出演等を通じ、広く市民に情報を発信します。

実績

- ・枚方の里山・収穫の秋穂谷、ふれあい土木展 2015、ふれあい Festa 氷室・里の駅、エコフォーラム 2016 において、里山保全活動団体の活動写真等のパネル展示を行った。
- ・エフエムひらかたへの出演。
- ・菊フェスティバルの一環として、菊花展を開催。市の花「菊」を市民へアピールした。

- ◆みどりのシンポジウムの開催

全国緑化キャンペーンである「みどりの月間」期間中に開催している「枚方市緑化フェスティバル」の40周年記念事業として「みどりのシンポジウム」を行います。

基調講演、パネルディスカッションを実施し、市民にみどりを持つ多様な機能について理解を深めてもらうとともに、その中で得られた貴重な意見や情報などは「みどりの基本計画」に反映します。

実績

- ・緑化フェスティバルを4月29日～5月2日まで開催。緑化推進の啓発を行った。
- ・緑化フェスティバル40周年記念事業として、3部構成のシンポジウムを行い、720人が参加した。第1部C.W.ニコル氏の講演。第2部岩崎寛千葉大学大学院准教授の講演。第3部パネルディスカッション。



〈みどりのシンポジウム〉



道路の穴ぼこを発見したら、連絡を!!!

実績

- ・通行者からの通報や日常管理のパトロール時に発見した穴ぼこの対応については、567件の穴埋め復旧を行った。